

大学名： 福岡教育大学

ASPUnivNet の 4つの機能	評価項目	事例記述
学校のユネスコスクール加盟を支援します。	1. ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。	屋久島町教育委員会から加盟に関する情報提供を行い、現在、町内 1 子ども園・保育園、1 小学校、1 中学校がチャレンジ期間に臨むことになった。
	2. ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。	都城市の谷頭こども園、おおむた子ども園、縄瀬保育園のチャレンジ期間の取組について、都城社会福祉協議会の担当者へ指導助言を行った。
	3. 地域の加盟済のユネスコスクールに向けて ESD/SDGs をリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。	大牟田市教育委員会の各種行事の際に質の向上をめざした ESD の指導助言を行った。
大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します。	1. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援（資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど）を行うことができた。	大牟田市立吉野小学校、宮原中学校などに出向き、ESD 推進に向けた支援を行った。
	2. 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。	
	3. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。	
地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します。	1. 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	本学がユネスコスクール支援大学である旨周知することを通して、ユネスコスクールの存在や意義について説明した。
	2. ユネスコスクールと地域の多様なステークホルダーとを結びつけることができた。	
	3. ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学	熊本市教育委員会と連携して、福岡教育大学 ESD セミナーを開催した。

	間の連携を促進することができた。	
国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します。	1. 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた	
	2. 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。	
	3. ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。(例：ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など)	
その他の活動	1. 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	本学学長室である社会連携推進室を通してユネスコスクール支援大学である旨周知した。
	2. 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。	本学授業「持続可能な開発のための教育」において ESD を先導的に行っているユネスコスクールについてその取組を紹介した。
	3. 調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができた。	ユネスコスクール年次調査に参画した。
	4. 自由記述	